

河川水測定の是非について（継続）

1 はじめに

第1回会議で河川水測定の是非についての提案があったため、第2回の会議においてこれまでの経緯や調査結果の状況等を説明し、第3回の会議において継続審議することになりました。

2 各意見の要旨

提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の下流調査は他の影響が多く、調査結果が高い値となっても検証ができないため、必要ないと思われる。 ・仮に調査の結果に問題があって、処分場由来ではないことが明らかな場合など、地域の周辺環境が良くないという印象をほかに与えてしまう心配がある。
経過 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは処分場の周辺環境への影響を把握するため、真に必要な項目は何か、何を測定すれば地域住民が安心できるか、その観点から調査項目の整理を行ってきた。 ・河川の水質については、処分場以外の由来も考えられることが確認され、調査の実施について過去の会議においても審議を行ったが、地域住民の要望等もあり合流地点下流（50m）については継続してきた。
地元委員	<ul style="list-style-type: none"> ・元々は市に対する不信感から多くの調査を行ってきた。 ・処分場が周囲に与える影響という面では当該調査の必要性は低いものと思われるが、調査によって自分たち地元住民がより安心して生活できるという効果はあったように思う。

3 今後について

河川水測定に係る委員からのご意見は、旭川市中園廃棄物最終処分場監視委員会第1回会議（書面）において提案されたが、現処分場においても同様に河川水調査を行っていることから、各委員等からのご意見を踏まえて、あわせて現処分場における河川水測定の実施の可否についてもご審議いただきたい。